

【研究概要】

筋萎縮性側索硬化症 (amyotrophic lateral sclerosis: ALS) 患者を対象として、既知の血液及び髄液中の酸化ストレスマーカーが、エダラボン治療反応性を予見するバイオマーカーになり得るかを検証する。